

令和4年度 福島小学校 学校関係者評価

番号	評価項目	よくできている				できている				あまりできていない				できていない				自己評価 4~1	考察(現在の状況における成果◎と課題●) ※番号:評価項目	評価者からのコメント (成果◎、課題●)	判定
		児童		保護者		教師		児童		保護者		教師		児童		保護者					
		割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数				
1	「読み・書き・計算」力の向上をめざして習熟の時間やぐんぐんタイムの充実、ICTの活用を図る。 (☆「学んだこと」を明言できる)	45%	24	0%	0	48%	61	52%	9	14%	35%	1	0%	13%	◎ 本年度は特別支援教育の視点をベースとした4+4+福島小UDの授業改善チェックシートを作成した。このシートを基に、教職員全員で授業研究を実施し、それぞれの授業内容の改善点を焦点化することができた。また、初期研修に係るメンター制度を関連させて、中堅、若手職員の授業研修を実施することにより、組織全体で授業力向上に努めることができた。今後職員間のアンケートを踏まえて研究推進部で検討し、授業研究の継続実践を行っていく。 ● 「読み・書き・計算」の習熟については、児童の「できる」という評価傾向に対して、教師は「できていない」という評価傾向が見られ、昨年度同様に、習熟の見取りに差異が見られた。各種学力調査や形成テストの結果を客観的に分析し、課題に対して具体的に手立てを打つようしていく。家庭学習の充実、「ぐんぐん」の計画的な運用に加えて、学校全体の習熟の取組を来年度教育課程編成時に検討するなど、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る取組を推進していく。 ● 質問2について情報担当職員を核とした職員研修を実施し、児童用タブレットや校内ICT環境の活用法を模索してきた。個別最適化された学びを実現するために、来年度もICT研修を主題研究の中に位置付ける。具体的には、Teamsの活用(授業、集会など)、タブレットの持ち帰り、AIDリルなど多角的なICT活用を目指していく研修を積極的に推進していく。 以上により自己評価を3とした。	◎ 授業力向上につとめることができ授業研究の継続実践を行うことは、先生方の意欲・努力が児童にも伝わり、学びが楽しく伝わりいいと思う。 ◎ ICT研修の大切さが理解できるの期待している。 ◎ 学校職員一丸となって授業研究に取り組んでいる様子が伺える。児童の実態を把握し、その子に応じた指導を工夫することや、主体的に学ぶ学習態度を育てることは、将来社会に生きる人間委として、とても大事である。今後も継続して取り組んでほしい。未来に出会う課題に対して思考し、判断し、表現できる人間の基礎を身に付けてほしいと願う。	3				
		39%	16	0%	0	48%	75	76%	14	11%	24%	2	0%	0%							
		52%	18	4%	4	35%	73	81%	11	9%	16%	1	0%	0%							
2	児童個々の実態に応じた指導(個別最適化)の工夫。児童が主体的に学ぶ学習の具現化(協働的な学習) (☆「個別最適化」学び合いの姿が見える)	34%	13	0%	0	49%	63	52%	15	22%	44%	3	2	4%	◎ 特別支援教育部を核として、児童一人一人の実態やニーズを把握し、その持てる力を高めるために、適切な指導や必要な支援を細心的に行ってきた。また、環境の変化に児童がスムーズに适应できるよう指導・支援をつなぐよう個別指導計画ファイルの整備を行った。集会活動や学校行事、全校放送などにおいても、児童の活躍やよさを賞賛する場面を多く設定した。 ◎ 質問6の結果について前年度より肯定的な意見が増え、登校渋りや不登校への対応も減少傾向にあるが、引き続き、アンケートや適応感の調査を実施し、全ての児童が笑顔で安心して登校できる学校づくりに努めている。 ● 質問4についてはマイナス評価が認められた。昨年より低評価であった、当り前3か条(廊下歩行、あいさつ、言葉遣い)の遵守に課題がある。なかでも廊下歩行等に表れている規範意識や安全意識の向上が課題である。今年度、登下校におけるヒヤリハットだけでなく、命に関わるような交通安全事故も発生した。よって規範意識、安全意識を高める指導を今後も継続して取り組んでいく。言葉遣いについては、友達同士だけでなく、教師に対しても呼び捨てや暴言を吐く場面が見られた。改善のためには、人権感覚やコミュニケーションスキルを高め、また、友達関係や生活リズムに悪影響が見られるSNSやゲーム利用についての啓発をさらに推進していく必要がある。また、進んであいさつすることも毎年の課題であり、引き続き指導していく必要がある。これらのことは、学校だけではなく、家庭、地域で共通理解、指導の共通実践をしていく必要がある。学年、学級、生徒指導通信などでさらなる啓発の工夫を行っていく。以上により自己評価を2とした。	◎ ひとりひとりの児童の活躍やよさを賞賛する場面を多く設定したことは素晴らしいと思う。「学校へ行きたい」という魅力的な学校づくりもいいと思う。 ◎ 何より「学校へ行きたい」という肯定的な意見が増えていることをうれしく思う。児童一人一人を尊重し認め合う教育環境、安心して生活できる教育環境ができてきているからである。 ● 言葉遣いは地域社会においても大切な学びなので、人権についてコミュニケーションスキルを高め、それが大切である。今、何よりも適切な時代でSNSを含め情報量も多いので、見極める力を養うことも今後の課題であると思っている。 ● 基礎的・基本的な生活習慣の形成は、家庭との連携が必要である。PTAの組織と共同で対策を講じて取り組んでほしい。	2.7				
		74%	11	4%	4	10%	78	72%	9	10%	24%	2	1	0%							
		66%	13	4%	4	26%	75	87%	7	12%	9%	1	0%	0%							
3	授業に関する課題を明確にし、授業力向上を図る。 (☆主題研究の充実、福島小UDの活用、わかる授業)	45%	20	0%	0	39%	66	84%	11	13%	16%	0	1	0%	質問7について ◎ コロナ対応では、「感染源を絶つ」「感染経路を絶つ」取組を通して、管理職を中心に学校職員全体で感染対策・対応に組織的に取り組んできた。今後も、国や県の感染対応における情報発信に注視し、組織的に取り組んでいく。安全な登下校については、上記のとおりさらなる指導の推進を図る必要がある。 質問8について ◎ 今年の運動会では、リレーを再開させるなど、昨年度以上にプログラムを充実させて実施することができるなど、体育的行事の実施状況についてはコロナ以前に戻りつつある。大会等での実績については、市の陸上大会において全種目上位入賞、市町村対抗駅伝での区間新記録、レスリングの全国大会出場、入賞等、6年生の活躍が素晴らしい。● 体力向上プランの結果より、全体的に体力の低下が認められた。コロナ対応における外遊びや運動機会の減少が原因の一つと考えられる。体育では、体力の落ち込みを強化する体づくり運動を取り入れるなどして運動量を確保していく授業を推進していく。 以上により自己評価を3とした。	◎ コロナ対応では、よく取り組んできたこと大変お疲れ様です。給食での黙食等よく努力されていると思う。 ◎ 厳しいコロナ禍の中で、感染防止対策が適切になされた上で教育活動が行われていることに感謝している。子どもたちがこのような状況下で精一杯の頑張りを見せてくれたことに感激している。 ● 体力向上プランの結果がわかり、体力の低下が認められたことについては、コロナ禍の影響が原因の一つであるので、今後体づくり運動推進に期待している。	3				
		48%	15	4%	4	36%	75	60%	15	10%	30%	4	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							
4	児童の生活を支える基礎的・基本的な行動様式の確実な定着。 (☆当たり前の生活態度、清掃、自習できる生活態度)	74%	11	4%	4	10%	78	72%	9	10%	24%	2	1	0%	◎ 150周年事業、お疲れ様でした。子どもたちから(近所)話を聞いたりして成功させることができたと思った。また記念誌発行等、学校、地域、PTAとの連携もよかった。今後も期待している。 ● 福島小創立150周年記念式典、本当にお疲れ様でした。子どもたちにとっても忘れられない思い出が一つ増えたと思います。	3					
		66%	13	4%	4	26%	75	87%	7	12%	9%	1	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							
5	全ての児童が「学校へ行きたい」と思う、魅力的な学校づくり (☆各種アンケート、相談、個別の支援計画、アクションプラン等)	45%	20	0%	0	39%	66	84%	11	13%	16%	0	1	0%	質問9について ◎ 150周年記念事業では、学校、地域、PTAの方々との連携をとりながら、計画、準備にあたり、児童の記念発表、記念誌発行、記念モニュメント設置などの大きな事業を成功させることができた。 ● 福島高校とのサマースクールはコロナ第7波の影響で中止となった。コロナを見据えて柔軟な対応ができるよう、企画、立案していく。 以上により自己評価を3とした。	◎ 150周年事業、お疲れ様でした。子どもたちから(近所)話を聞いたりして成功させることができたと思った。また記念誌発行等、学校、地域、PTAとの連携もよかった。今後も期待している。 ● 福島小創立150周年記念式典、本当にお疲れ様でした。子どもたちにとっても忘れられない思い出が一つ増えたと思います。	3				
		48%	15	4%	4	36%	75	60%	15	10%	30%	4	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							
6	他の命を大切にする実践力を育てるため、家庭、地域、関係機関との連携を図った指導の充実 (☆コロナ対応、SOSの出し方、安全な登下校や避難、家庭や地域、関係機関との連携)	74%	11	4%	4	10%	78	72%	9	10%	24%	2	1	0%	◎ 150周年事業、お疲れ様でした。子どもたちから(近所)話を聞いたりして成功させることができたと思った。また記念誌発行等、学校、地域、PTAとの連携もよかった。今後も期待している。 ● 福島小創立150周年記念式典、本当にお疲れ様でした。子どもたちにとっても忘れられない思い出が一つ増えたと思います。	3					
		66%	13	4%	4	26%	75	87%	7	12%	9%	1	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							
7	体育、家庭科、特別活動などの教科指導や家庭や地域を通じた日常生活における体育・健康活動による、健康的な生活習慣の形成 (☆体力向上プラン、運動の日常化につながる体育指導、健康調査の結果分析と健康増進策、家庭との連携)	45%	20	0%	0	39%	66	84%	11	13%	16%	0	1	0%	◎ 150周年事業、お疲れ様でした。子どもたちから(近所)話を聞いたりして成功させることができたと思った。また記念誌発行等、学校、地域、PTAとの連携もよかった。今後も期待している。 ● 福島小創立150周年記念式典、本当にお疲れ様でした。子どもたちにとっても忘れられない思い出が一つ増えたと思います。	3					
		48%	15	4%	4	36%	75	60%	15	10%	30%	4	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							
8	市の教育施策や地域実情に応じた、本校ならではの教育活動の推進(☆150周年事業を含む)小・中・高一貫教育事業、串間中、福島高校との交流活動)	74%	11	4%	4	10%	78	72%	9	10%	24%	2	1	0%	◎ 150周年事業、お疲れ様でした。子どもたちから(近所)話を聞いたりして成功させることができたと思った。また記念誌発行等、学校、地域、PTAとの連携もよかった。今後も期待している。 ● 福島小創立150周年記念式典、本当にお疲れ様でした。子どもたちにとっても忘れられない思い出が一つ増えたと思います。	3					
		66%	13	4%	4	26%	75	87%	7	12%	9%	1	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							
9	市の教育施策や地域実情に応じた、本校ならではの教育活動の推進(☆150周年事業を含む)小・中・高一貫教育事業、串間中、福島高校との交流活動)	74%	11	4%	4	10%	78	72%	9	10%	24%	2	1	0%	◎ 150周年事業、お疲れ様でした。子どもたちから(近所)話を聞いたりして成功させることができたと思った。また記念誌発行等、学校、地域、PTAとの連携もよかった。今後も期待している。 ● 福島小創立150周年記念式典、本当にお疲れ様でした。子どもたちにとっても忘れられない思い出が一つ増えたと思います。	3					
		66%	13	4%	4	26%	75	87%	7	12%	9%	1	0%	0%							
		79%	21	8%	8	16%	74	71%	4	5%	17%	2	0%	4%							